

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-510728 (P2016-510728A)

【公表日】平成 28 年 4 月 11 日 (2016.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2016-022

【出願番号】特願 2015-559495 (P2015-559495)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/605 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/26 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/605 Z N A

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

A 6 1 K 37/28

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/107

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

網膜神経変性疾患の局所眼治療及び／又は予防における使用のための、薬学的局所眼用組成物であって、

13～50 アミノ酸の配列長を有するペプチドを含み、前記ペプチドの N - 末端領域が、配列：

H X a a ¹ E G T F T S D X a a ² S X a a ³ X a a ⁴ (配列番号：1) を含み、
X a a ¹ が、アラニン及びグリシンから選択されるアミノ酸であり、
X a a ² が、バリン及びロイシンから選択されるアミノ酸であり、
X a a ³ が、セリン及びリシンから選択されるアミノ酸であり、
X a a ⁴ が、チロシン及びグルタミンから選択されるアミノ酸であり、
ヒスチジンが、N - 末端残基である、薬学的局所眼用組成物。

【請求項 2】

配列長が、30～40 アミノ酸である、請求項 1 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 3】

網膜神経変性疾患が、糖尿病性網膜症 (D R)、加齢性黄斑変性症、緑内障、及び色素

性網膜炎からなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 4】

網膜神経変性疾患が、糖尿病性網膜症である、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 5】

初期の糖尿病性網膜症の局所治療において使用される、請求項 4 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 6】

$X a a^1$ がアラニンであり、 $X a a^2$ がバリンであり、 $X a a^3$ がセリンであり、 $X a a^4$ がチロシンである、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 7】

ペプチドが、哺乳動物グルカゴン様ペプチド - 1 である、請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 8】

ペプチドが、アミノ酸配列番号：2 のヒトグルカゴン様ペプチド - 1 (7 - 37) である、請求項 7 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 9】

ペプチドが、アミノ酸配列番号：3：

H A E G T F T S D V S S Y L E G Q A A K E F I A W L V R G R G

を有し、

リシン残基 (K) が、リシン側鎖のアミノ基にアミド結合によって付加された親油性置換基 N - (- グルタミル (N - ヘキサデカノイル)) を含む、請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 10】

$X a a^1$ はグリシンであり、 $X a a^2$ がロイシンであり、 $X a a^3$ がリシンであり、 $X a a^4$ がグルタミンである、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 11】

ペプチドが、アミノ酸配列番号：4：

H G E G T F T S D L S K Q M E E E A V R L F I E W L K N G G P S S G A P P P X
 $a a^5$

を有し、

$X a a^5$ が、-COOH 末端が -NH₂ 基で置換されたセリン残基である、請求項 10 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 12】

ペプチドが、アミノ酸配列番号：8：

H G E G T F T S D L S K Q M E E E A V R L F I E W L K N G G P S S G A P P S K
K K K K X $a a^6$

を有し、

$X a a^6$ が、-COOH 末端が -NH₂ 基で置換されたりシン残基である、請求項 10 に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 13】

溶液、クリーム、ローション、軟膏、エマルション、及び懸濁剤からなる群から選択される、請求項 1 から 12 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。

【請求項 14】

点眼液である、請求項 1 から 13 の何れか一項に記載の薬学的局所眼用組成物。